

みんなの広場



伊藤 たみ子さん 100歳
(河北地区・中島)

物事こたわらず自分流で

伊藤たみ子さんは、明治45年7月25日に石巻市桃生町給人町に生まれました。昭和6年に夫の繁男さんと結婚し、2男2女の子に恵まれました。結婚後は家事等で家庭を支えました。短歌、俳句、ゲートボールと多彩な趣味を持ち、現在も庭の手入れを行う等健康状態は良好です。

は、堀井栄河北総合支所長ら3人が伊藤さん宅を訪問。堀井支所長は「日ごろから精進潔斎に留意され、千秋万歳の詞を贈ります」と祝詞を述べ、敬老祝い金を手渡しました。伊藤さんは「皆さんにお祝いいただき、本当に夢のような時間。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べていました。



▲伊藤たみ子さん(中央)

投稿募集

◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのおきのお話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールにて秘書広報課あてにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたものを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただきます。

問 秘書広報課(内線4025)
〒986-8501(住所不要)
Eメール ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp



阿部 ますみさん 100歳
(牡鹿地区・大原浜)

自慢の歌声いまでも健在

大正元年8月1日に生まれた阿部ますみさんは、3人姉妹の末っ子で、子どものころはマラソンの選手として活躍したそうです。20歳の時に同じ大原浜出身の慶右工門さんと結婚し、8人の子宝に恵まれました。現在は13人の孫と10人のひ孫に囲まれています。65歳まで養鶏場で働きた



▲阿部ますみさん

から田畑で作物を育て、80歳ころまで農業を続けました。気分がいい日はいまま家の庭の雑草を取ったりするほど達者な阿部さんは、朗らかで色々な人と会って話すことが大好きです。歌うことも得意な阿部さんは、デイサービスでも自慢の歌声を披露し周囲の人を喜ばせています。

長寿のひけつは「好き嫌いなく何でも食べる」と阿部さん。歯が丈夫でアメ等の堅いものも、かじることができそうです。一日3食、きちんと食事をとり健康状態は良好です。

一方で、昨年の震災で、阿部さんの住む牡鹿地区は大きな被害を受けました。阿部さんは「震災で全てなくなり悲しい思い。(亡くなった人のために)毎日手を合わせています」と話していました。



まちの話題

石巻地区

力士とふれあい 元気いっぱい

8月7日(火)
市総合体育館



「復興応援フェスティバルin石巻」(日本相撲協会主催)が開かれ、横綱白鵬関から力士が石巻入り。相撲協会による被災地支援の一環として、握手会や地元の子どもたちとのふれあい相撲等を繰り広げ、市民を元気付けました。土俵が組まれた体育館には、地元の大相撲ファン3千人が詰め掛けました。力士の基本動作を紹介する「相撲体操」の披露でスタートし、子ども相撲では市内の小学生たちが十両高見盛関ら4人の人気力士と体をぶつけ合いました。

牡鹿地区

みこし渡御で 復興祈願

7月15日(日)
石巻市大原浜



牡鹿半島の原浜地区で、三熊野神社の夏祭りが開かれました。仙台市青葉区の一丁目4丁目商店街振興組合から寄贈された神輿を、地区住民が担ぎました。大原浜は震災で大きな被害を受け、同神社に保管していた神輿も台座から落下して損壊。状況を知った同振興組合が、地元の祭りで使用してきた中の1基を贈りました。重さは約200キロと、これまで大原浜地区にあったものの2倍以上。祭りでは約50人の担ぎ手が力を合わせて練り歩き、地域に活気を呼び戻しました。